

金属地そのまま / スッキリとサビをとる。

サベット (塗布用) と ニューサベット (浸漬用)

サベット (塗布用)、ニューサベット (浸漬用) は強力な界面活性剤と、りん酸を配合し、サビを融かすのではなく金属面から離してとる新しいタイプの除錆剤です。金属面を荒らさず、除錆後短期防錆ができます。

■サベット (塗布用除錆剤)

水のり状。粘度があるので平面はもちん垂直面にも塗布でき、ぬってふきとるだけでサビがとれます。

(サベットはアメリカ航空宇宙局が開発、Subet Industries より昭和45年三協物産(株)が輸入、日本で発売したもので、現在当社で製造、工業用に販売しております。)

サベットの主な適用

- 一部にできたサビの除去。
- 全面にひろがったサビでも比較的新しいサビの除去(布にサベットをつけてふきとる)。
- メッキ(クロームメッキ)のピンホールからでたサビの除去。

サベットの使い方

1. サビの部分にブラッシ、スポンジ、布につけたサベットをぬります。
2. ちょっとしたサビなら2～3分、ひどいサビで20～30分おいて布できれいにぬぐいます。
3. 新しく、広範囲のサビは布にサベットをつけてふきとります。

サベットの技術資料

色：ブルー

粘度：14cm ポイズ25°C

35/5 sec / # 3 ザーンカップ

比重：1.17 / 25°C

引火点：不燃性

放置して有効な期間：容器にキャップをして保存すれば2年以上有効、(直射日光にあると脱色するが効力は変らない)

主成分：界面活性剤、りん酸、粘質剤、インヒビターズ

臭気：ほとんどないが高炭素鋼に塗布すると臭気を発する。

溶剤：水(よく攪はんすること)

サベットの防錆力

サベットを塗布し、ふきとった後にごく薄いらん酸化合物の層とプラスチック皮膜が残りサビを防ぎますが、油膜と違って湿気に弱いので防錆期間は湿度の高低によりかなり異なり、3日から1ヵ月くらいです。

長期防錆には除錆後防錆剤を用いてください。

荷姿

1ℓ ポリ容器入り

1ガロン(約4ℓ) ポリ容器入り

サベット、ニューサベットを適用する上での注意点

- 炭素の含有量0.7%以上の高炭素鋼、鑄鉄に使用しますと遊離炭素のため表面が、灰色または黒くなります。この変色層は厚さ約0.3ミクロンで材質には影響せず、研磨材で軽く磨けばとれます。
- 長くたつたサビは金属地を侵食していますので、サビを除去すると侵食あとが地図のように残ることがあります。
- クローム、ニッケル、金、銀、メッキには影響ませんが、亜鉛メッキ、クロメートメッキ、スズメッキは侵食します。
- サビをとったあとそのまま塗装できます。
- サベットを塗布したまま1時間以上放置しますと粘質剤がカチカチに固まってとれなくなりますので30分以内にふきとるようにしてください。
- ペイントは侵食しませんが、サベットを厚く塗布して長時間放置するとはく離します。



■ニューサベット(浸漬用除錆剤)

ニューサベットはサベットの姉妹品として浸漬用に開発されたもので粘度はありませんが成分は類似しており水で4～10倍にうすめて使用することができます。



ニューサベットの防錆力

ニューサベットに浸漬しますとリン酸との反応でリン酸化合物のごく薄い層ができるのと水洗後残留する界面活性剤の皮膜により短期防錆ができます。

防錆期間は湿度その他環境に影響されますが1～15日くらいです。

つゆどきなど水洗後水分がいつまでも残留するとその水分が原因で赤錆が発生することがありますのでご注意ください。長く保存する場合は除錆後防錆剤を用品ですが水洗後すぐ防錆処理をするのには水置換の性質をもった防錆剤にかぎります。

ニューサベット廃液の処理

廃液は酸性で、とれた赤錆(水酸化オ2鉄)が下にスラッジとして沈殿しています。酸の廃液処理設備があればそれを利用してください。ないときは廃液を水でうすめアルカリ(消石灰、炭酸カルシウムなど)で中和し上ずみを放流、沈殿したスラッジは別に除去して処理します。(鉄の排水基準の許容限度は10ppm以下です。)

ニューサベットの主な適用

- 全体的にサビのでた鉄または非鉄金属部品のサビとり。
- 小さい部品のサビとり。
- サベットでとれない古いサビの除去。
- パイプ、タンクなど内部の除錆。

ニューサベットの使い方

1. ひどく油のついているものは前もって脱脂します。
(少しぐらいの油でしたら脱脂の必要はありません。)
2. 原液を水で4～10倍にうすめ、その中に浸漬するか、その液を注入してサビのていどによりますが20～30分放置します。
3. サビがとれたらあげて、水か湯ですすぎ、なるべく早く乾します。
(厚くガンコなサビは浸漬の途中であげてタワシ、ワイヤーブラッシでこすりおとします。)

ニューサベットでの除錆作業上の注意点

- 通常の皮膚には影響はありませんが、目や口に入らぬよう注意してください。万一目に入ったときは15分間水洗の上、医者にかかってください。
- 長時間素手で作業しますと皮膚がヒリヒリしますのでくりかえし作業をするときはゴムかプラスチックの手袋をしてください。

ニューサベットの技術資料

色：白(半透明)

比重：1.40 / 25°C

引火点：不燃性

放置して有効な期間：容器にキャップをして太陽光線のあたらないところに保存すれば2年以上有効。太陽光線に長くあたると茶色く変色するが効力は変わらない。

主成分：界面活性剤、リン酸、インヒビターズ
臭気：ほとんどないが、鋼材を長く浸漬すると臭気を発する。

溶剤：水

荷姿

- 1 ガロン(約4ℓ)ポリ容器入り。
- 18ℓ アトロン缶入り。